

**【報告事項】**

2018年（平成30年）事業報告

## 2018年（平成30年）事業報告書

（平成30年1月1日～平成30年12月31日）

SL災害ボランティアネットワーク（以下、本法人という）は、大規模地震等の大災害に備えて「わが身わが命は自分で守る」ことを基本精神に、地域・職場・大学等に根ざした自主的な防災活動、被災地支援活動を行い、災害の被害を軽減することを目的に活動しており、2018年（平成30年）は次の事業を行った。

### 1. 地域・職場・学校等での自主的な防災活動事業

#### ① 自主活動～地域ネット活動

各地域ネットでは地域の事情に応じて定例会（月1回・隔月）を開催し、会員の防災知識と技能維持向上を図るため、勉強会・技能訓練を行った。また千葉県および埼玉県では、地域ネット代表者からなる県地区運営委員会を隔月で開催し、各地域の情報交換と県ネットの年間活動計画等を策定、それを実行した。本年度はSL川崎ネットが発足しネットワークとして活動を開始した。

またSL会員は所属する地域ネットにて学校や社会福祉協議会（以下、社協）、他団体とともに防災・減災の啓発普及活動を次の通り実施した。

- ・ NPO法人神奈川災害ボランティアネットワーク（KSVN）と共催でかながわ・よこはま防災ギャザリング事業
- ・ 学校での防災マップ作りや、地域のイベント等で防災・減災の展示啓発活動

#### ② 防災訓練の指導と訓練参加

九都県市合同防災訓練、並びに各自治体の総合防災訓練へ参加し、日頃の訓練の成果を発揮した。また、地域等の防災訓練で使用するため非常用炊出袋の頒布を行った。

#### ③ 受託事業の実施

地域、社協、行政から委託を受け、企画・運営した主な事業は次の通り。  
船橋市受託事業として船橋市地域防災リーダー研修を実施。千葉県生涯大から受託事業として東総学園および外房学園にて授業を行った。また神奈川県教育委員会受託事業として神奈川県立高校8校でDIG<sup>※1</sup>、また小中高特別支援学校の教員を対象にしたDIGを実施した。

※1. Disaster（災害）、Imagination（想像力）、Game（ゲーム）の頭文字をとった災害図上訓練のこと。

### 2. 災害時における被災地支援事業

本法人が被災地の行政または社協からの情報を収集・把握し、被災地への支援活動を実施したのは次の通り。

#### 【平成30年7月豪雨災害】

- ・ 広島県呉市への災害支援活動および、支援物資の発送。その他、募金活動などを行った。

### 3. 会員の知識と技能向上のための教育訓練事業

#### ① 自主企画のセミナーの開催

会員による自主的なセミナー、防災談話室を次の通り実施した。

- ・ SL企画セミナー第3弾「防災ワークショップ3:3:3～発災から3日間をイメージする力を養うワーク」・・・6/4・6/11・6/18の全3回
- ・ SL企画セミナー第4弾「初心者のためのDIG演習」・・・12/3・12/10・12/11の全3回
- ・ SL防災談話室@mansion・・・1/10・3/14・5/9・7/11・9/19・11/21（奇数月第2水曜定例開催）

#### ② リーダー及びインストラクターを育成する事業

SL 企画セミナー「初心者のための DIG 演習」は、神奈川県教育委員会の受託事業である DIG 事業へ講師・ファシリテーターを派遣できるよう本法人独自の養成プログラムを実施。受託事業前には、講師・ファシリテーターとなる SL を事前に集め、統一した指導内容となるよう教材の作成、内部研修を実施。実践の場として受託事業に関わることで連続性のある人材育成を行った。

③ 見学会、講演会、等の実施

地域を超えた会員の相互交流・親睦を図るため、県域での交流会・野営訓練等を行った。

- ・ 6月23日には第2回 SL 全体ミーティングを都内会議室で開催し、防災教育で使えるよう防災カードゲーム「なまずの学校」を体験し指導のポイントなどを学んだ。
- ・ 千葉県では春季研修（5月）では防災科学技術研究所等の見学を行い、秋季研修（10月）では「地域ネットの活動を知ろう！」をテーマに、各地域で実施している訓練手法や防災グッズの作り方を体験し共有する研修会を実施した。
- ・ 神奈川県では4月5月にかながわ・よこはま防災ギャザリングを10月に柳島キャンプ場での野外訓練を実施した。
- ・ 埼玉県では隔月で定例会議を開き、8月に避難生活実践キャンプを行ったほか、日本工業大学にて救命講習の指導にあたった。
- ・ 10月15日16日と京王プラザホテルにて「住環境・生活環境/アレルギーEXPO2018」へブース出展し「災害時の食」をテーマに来場者へ非常用炊出袋の頒布や防災の普及啓発を行った。
- ・ 11月20日には公開シンポジウム「災害時トイレ・シンポジウム」を外部講師も招いて開催し、一定の評価を得た。

4. 災害救援ボランティアリーダーを育成する事業等への協力

災害救援ボランティア推進委員会が主催する「災害救援ボランティア講座」等への講座運営を支援し、社団活動の説明を行い、新規会員の確保を行った。【正会員数=685人/12月末現在】

5. その他、目的達成に必要な事業

① 理事会の開催および運営等

理事会を9回開催し、本法人の基盤となる各種規則の作成を行った他、活動帽を作成した。

② 運営委員会の開催および運営等

東京・神奈川・千葉・埼玉から選出された委員で構成する運営委員会では、毎月1回定例会を開催し、横断的な情報交換、事業の企画・運営を話し合った。

③ 広報啓発事業

災害救援ボランティア推進委員会が年6回発行している会員向け広報紙「SL News Letter」の編集・発送に協力した。またホームページ並びにフェイスブックを運用し、広報周知を図った。

④ 関係団体との連携事業

千葉県では、千葉県災害ボランティアセンター連絡会（事務局：千葉県社会福祉協議会、日赤千葉県支部）に、埼玉県では「彩の国会議」（事務局：埼玉県危機管理課）に、神奈川県では、県民センター支援室会議に参加協力した。また、シェイクアウト提唱会議と協力して、自治体でのシェイクアウト訓練の普及活動を行った。

⑤ その他

本法人の財政基盤の強化と活動促進のために広く寄付金を募った。

以上

(参考資料)

## 寄付金報告

寄付期間：2018年4月24日～2018年12月31日

2018年4月24日から開始した寄付金は、12月31日現在で、合計648,049円（121件）が集まりました。集まった寄付金は、災害対応積立金に15万円、基本財産に15万円積み立て、残りの348,049円はSL活動と被災地支援活動に充てました。

詳細は下記の通りです。

### 【受取寄付金】

項目	口数	金額	摘要
会員寄付金	119	546,000	SL会員からの寄付金
一般指定寄付金	1	100,000	外部一般から西日本豪雨災害支援金として
一般寄付金	1	2,049	災害時トイレシンポジウム会場にて
合計金額	121	648,049	

### 【事業支出】

項目	金額	摘要
災害時トイレシンポジウム開催費用	104,337	
住環境アレルギーEXPO 出展費用	61,533	
災害用ミニ太陽光発電機 備品購入費	54,300	
西日本豪雨災害支援 旅費交通費	62,260	
西日本豪雨災害支援 支援物資荷造運賃費	65,619	
支出合計	348,049	

### 【積立金】

災害対応積立金	150,000	
基本財産	150,000	
積立金合計	300,000	

以上